

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育実践演習①		（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）		青田 由美子	保育士
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期		必修・選択	
30 回	60 時間（2 単位）	2 年・通年		必修	
[授業の目的・ねらい] - 保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行い、問題解決のための対応、判断方法等について学びを深める。 - 自らの学びを振り返り、目指す保育者像や自分の課題を明確にする。 [授業全体の内容の概要] - 保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行う。 - 模擬保育を通して自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識、技能を修得する。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] - 保育に関する現代的課題について分析、考察、検討ができ、且つ問題解決のための方法を提案することができる。 - 模擬保育を通して、今後の自分の課題を見つける。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 《前期》 1. ガイダンス 2. 保育に関する現代的課題とは 3. 研究課題決定 4～8. 現状分析 9～13. 考察 14～15. 中間発表 《後期》 16～20. 検討 21～22. 発表・まとめ 23～24. 模擬保育設定（3 歳児、4 歳児、5 歳児、異年齢児、気になる子） 25. 模擬保育① 26. 模擬保育② 27. 模擬保育③ 28. 模擬保育④ 29. 模擬保育⑤ 30. 期末試験					
[使用テキスト・参考文献] 保育所施設実践演習これまでの学びと保育者への歩み（わかば社）					
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 - 考查点(75％) - 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 - 平常点(25％) - 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 - 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					